

2017年6月19日

トヨタファイナンシャルサービス株式会社  
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

## MaaS Global 社への出資について

トヨタファイナンシャルサービス株式会社(社長:犬塚力、以下 TFS)とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉恭三、以下 AD)の2社は、次世代モビリティ事業への取り組みを加速化させるべく、フィンランド(ヘルシンキ)にてマルチモーダルサービスを展開するMaaS Global社(以下、MaaS)に戦略的出資を行うことを決定した。

マルチモーダルサービスとは、新たに開発したスマホアプリ(名称 Whim)を通じて、タクシー・レンタカー等の車両や電車・バス等公共交通機関、その他の多様な移動手段を組み合わせ、予約・決済機能を含めて、効率的な移動を提供する新たなサービスである。

MaaSは2016年10月よりヘルシンキで試験事業を展開しており、将来的には世界の主要都市への事業展開を見込んでいる。両社は今回のMaaSへの出資により、コネクティッドカー・自動運転技術・電動化の進展や、シェアリングエコノミーの進展によるお客様消費行動の変化(クルマの所有から利活用へ)に適合した、より付加価値の高いサービスの提供を目指していく。

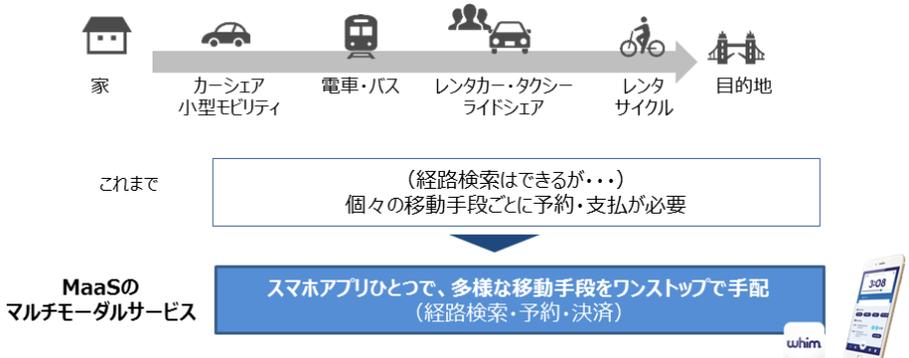
TFSは新バリューチェーンとしてマルチモーダルビジネスの知見を習得し、収集データの分析に基づきトヨタ顧客へのより良いサービスの提供、カスタマーリテンションの向上に繋げていくことを検討している。犬塚社長は、「マルチモーダルサービスの分野において先陣を切るMaaSとパートナーを組めたことは大変喜ばしい。モビリティに関するお客様のニーズにしっかりと応えていきたい」と述べた。

ADはMaaSへ実務レベルの人員を派遣し、新モビリティサービスやマルチモーダルビジネスのノウハウを取得するとともに、派生する保険関連事業について研究開発を進める予定である。金杉社長は、「欧州子会社での本取り組みをとおして、利便性の高い移動手段のノウハウを取得することにより、お客さま接点の多様化に対応した、新しい保険商品・サービスの開発、保険の売り方を変えていきたい」と述べた。

TFSとADは金融と保険が一体となったサービスを1990年代より世界各地において共同で展開しており、1999年に欧州でトヨタインシュランスマネジメント社を、2016年には米国でテレマティクス自動車保険関連サービスを提供するトヨタインシュランスマネジメントソリューションズ社を両社子会社を通じた共同出資により設立している。

国内外での新しいモビリティ社会の到来を見据え、今後も両社の持つ金融・保険・テレマティクス技術を活用し、次世代モビリティ事業における協業体制をさらに強化していく。

【MaaS Global 社概要】

会社概要	MaaS Global Oy (2016年4月設立。本社ヘルシンキ (フィンランド))
創業者	Sampo Hietanen 氏 (CEO) および Kaj Pyyhtiä 氏 (CXO※) の二名 ※ CXO…チーフカスタマーエクスペリエンスオフィサー
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社開発スマホアプリ (Whim) を通じてマルチモーダルサービスを展開 (タクシー・レンタカー等の車両や電車・バス等公共交通機関、その他の多様な移動手段を組み合わせ、予約・決済機能を含めて、効率的な移動を一体的、包括的に提供)</li> <li>・ 当該分野のフロントランナーとして、欧州を皮切りに世界の主要都市への展開を計画</li> </ul>  <p>家 → カーシェア 小型モビリティ → 電車・バス → レンタカー・タクシー ライドシェア → レンタサイクル → 目的地</p> <p>これまで (経路検索はできるが...) 個々の移動手段ごとに予約・支払が必要</p> <p><b>MaaSのマルチモーダルサービス</b> スマホアプリひとつで、多様な移動手段をワンストップで手配 (経路検索・予約・決済)</p>

以上